

 **おのまち**

議会だより

174号

令和5年
5月25日発行



定例会3月会議

5 常任委員会審査

6 令和5年度主要プロジェクト

8 町政を問う! 4人が一般質問

14 議会活動トピックス

6月3日に山開きを迎える矢大臣山山頂

定例会3月会議

3月2日～3月10日



▲本会議(議会運営委員長報告)

令和5年小野町議会定例会3月会議は、3月2日から3月10日まで9日間の日程で開かれました。

会議では、令和4年度各会計補正予算、令和5年度各会計当初予算、条例の一部改正など24件の町長提出議案と、議員提出議案3件が提出され、議案は27件が全員賛成で原案のとおり可決となりました。

また、4名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考えをたきました。

令和5年度当初予算 一般会計予算総額58億5600万円

令和5年度当初予算は、今後5年間の計画期間とする「総合計画」に掲げる重点施策に加え、人口減少対策のための中心的な指針「まち・ひと・しごと創生総合戦略」や「過疎地域持続的発展計画」に基づく諸事業を基本に推進する内容の予算が計上されました。

各会計の予算総額は下表のとおりです。

※1万円未満切り捨て

会計区分		本年度予算額	前年度予算額	増減	
一般会計		58億5600万円	56億5300万円	2億300万円	
特別会計	国民健康保険	11億9352万円	11億4598万円	4754万円	
	後期高齢者医療	1億2207万円	1億1710万円	497万円	
	介護保険	14億2160万円	14億3084万円	▲924万円	
	浄化槽整備推進事業	8375万円	7619万円	755万円	
	文化・体育振興基金	213万円	213万円	0万円	
地方公営企業会計	水道事業	収益的収入	1億6657万円	1億6602万円	54万円
		収益的支出	1億6098万円	1億6138万円	▲40万円
		資本的収入	5700万円	6303万円	▲602万円
		資本的支出	1億4383万円	1億3607万円	775万円

令和4年度各会計補正予算

令和4年度一般会計並びに各特別会計等の補正予算について審査しました。

各会計の補正予算額については、右表のとおりです。

<令和4年度補正予算額>

※1万円未満切り捨て

会計区分		今回補正額	補正後予算額	
一般会計		▲2億6448万円	58億7077万円	
特別会計	国民健康保険	1259万円	12億1396万円	
	後期高齢者医療	53万円	1億1837万円	
	介護保険	▲5939万円	14億5243万円	
	浄化槽整備推進事業	▲446万円	7223万円	
	文化・体育振興基金	8万円	263万円	
地方公営企業会計	水道事業	収益的収入	258万円	1億7192万円
		収益的支出	▲565万円	1億6327万円
		資本的収入	▲242万円	6060万円
		資本的支出	▲1260万円	1億2347万円

条例制定・一部改正

条例制定2議案、条例の一部改正7議案を可決しました。
主な内容は次のとおりです。

◆小野町犯罪被害者等支援条例を制定

犯罪被害者などが受けた被害の早期回復と犯罪被害者などを支える地域社会の形成を図り、誰もが安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現のため、条例を制定するものです。

◆小野町環境保全対策基金条例を制定

一般廃棄物の搬入により発生する環境負荷に対して適正な管理対応の経費の財源確保と、町民の健康保護及び生活環境の保全を図るため、基金設置条例を制定するものです。



◆職員の給与に関する条例の一部を改正

令和4年10月5日付け福島県人事委員会からの勧告により、通勤手当の上限額及び宿日直手当の支給額の改正を行うものです。

◆小野町議会議員及び小野町長の

選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正

最近の物価変動などを背景に、公職選挙法施行令の一部が改正され、衆参両議院における選挙運動の公営単価に係る限度額の引き上げが行われ、当町の選挙に係る公営単価についても、所要の改正を行うものです。

◆小野町国民健康保険条例の一部を改正

健康保険法施行令などの一部改正に伴い、出産育児一時金の支給額を引き上げる改正を行うものです。

◆小野町国民健康保険税条例の一部を改正

国民健康保険法施行令の一部を改正により、国民健康保険税の課税限度額を引き上げるとともに、軽減措置について、5割軽減及び2割軽減の対象世帯に係る所得判定基準の改正を行うものであります。

◆小野町放課後児童健全育成事業の

設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準などの一部を改正により、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部が改正されたことから、バス送迎に当たっての安全管理の徹底に係る規定などを加える改正を行うものです。

*本町の該当施設(2施設)

- ・小野町放課後児童クラブ
- ・あおぞら保育園学童部

◆小野町家庭的保育事業等の設備及び

運営に関する基準を定める条例の一部を改正

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準などの一部を改正により、家庭的保育事業の設備及び運営に関する基準の一部が改正されたことから、バス送迎に当たっての安全管理の徹底に係る規定などを加える改正を行うものです。

◆小野町占用料徴収条例の一部を改正

道路法施行令の一部を改正する政令の改正に伴い、占用料の額が改定されることから、町道占用料の額を政令で定める5級地の額に準ずることとする改正を行うものです。

契約締結

購入の予定価格が5000万円以上の契約案件については次のとおりです。

◆林業専用道整備事業

早渡大平線新設工事請負契約の締結

契約先：有限会社 高柴建設
契約額：80,190,000円

議員提出議案

3件の議員提出議案を可決しました。

◆議員派遣について

小野町議会会議規則第127条第1項により、議案の審査又は町の事務調査などのため議員を県内外に派遣することについて提案したものです。

議案提出者：宗像 芳男 議員

◆意見書の提出

陳情採択に伴い、意見書を内閣総理大臣等に提出することについて提案したものです。

○子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書

議案提出者：緑川 久子 議員

意見書提出先：内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣、内閣府特命担当大臣（少子化対策）、衆議院議長、参議院議長

○福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

議案提出者：中野 孝一 議員

意見書提出先：内閣総理大臣、厚生労働大臣、福島労働局長

審議した議案と各議員の賛否

・賛成が「○」、反対は「×」と表示します。
・田村弘文議長は採決に加わりません。

会議名	提出区分	議案名	可否	會田良吉子	中野孝一	緑川久子	先崎勝馬	会田明生	吉田康市	宗像芳男	水野正廣	久野峻	竹川里志	
定例会 3月会議	町長	令和4年度小野町一般会計・各特別会計等補正予算 7件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		令和5年度小野町一般会計予算・各特別会計等予算 7件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町犯罪被害者等支援条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町環境保全対策基金条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町議会議員及び小野町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		林業専用道整備事業早渡大平線新設工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議員	議員	議員派遣について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書	可決			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	可決			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第1回会議 3月	町長	小野町の個人情報の保護に関する法律施行条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		小野町情報公開・個人情報保護審査会条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		議員	小野町議会の個人情報の保護に関する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※提出区分欄の「町長」は町長提出議案、「議員」は議員提出議案を示します。
※紙面の関係上、予算関係議案は集約して掲載しています。個々の議案名は小野町議会のホームページに掲載します「会議録」をご覧ください。

ここが聞きたい 質疑 常任委員会審査

予算決算常任委員会

令和4年度の一般会計及び各特別会計補正予算、令和5年度の当初予算を審査しました。

町民生活課

問 急発進防止措置(ブレーキとアクセルの踏み間違いによる誤発進を回避する装置)の累計は。

答 令和2年度が36件、令和3年度が4件、令和4年度が2件で交付しており、累計で42件である。

健康福祉課

問 通学支援事業、特定相談支援事業所や田村基幹支援センターの業務についての周知方法や窓口での対応は。

答 周知については小野町社会福祉協議会や福島県福祉事業協会へ委託している。

窓口は、職員や社会福祉協議会の相

談員が中心となり対応している。

問 健康まつりの内容はどのようなものか。

答 9月10日に開催を予定しており、子どもフラダンスや健康に関するトークショーのほかラジオ体操の講習会や、来場者の健康チェック、発酵のまちづくりの出展など健康に関する総合的なイベントを検討している。

産業振興課

問 イノシシの捕獲頭数の見込みは。

答 令和3年度は280頭、令和4年度は126頭の見込み(3月時点)

問 発酵のまちづくりについて、構成員の意見を聞く場を設けてほしい。

答 構成員の意見を聞き事業に反映させていくことは必要であると考えため、機会を設ける。

問 高柴山駐車場の借上げ料は値上げしているのか。

答 予算には夏井千本桜駐車場も含まれており、借上げ料の値上げは行っていない。

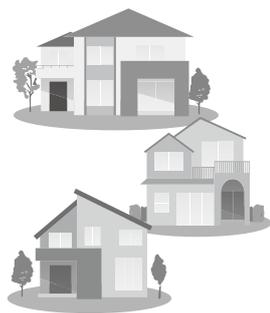
地域整備課

問 石綿セメント管更新事業に係る残存延長は。

答 残存延長6.5kmであり配水管を優先して更新している。

問 公営住宅や町営住宅の今後の改修の計画は。

答 長寿命化計画を策定し、これに基づき計画的に実施していきたい。木造住宅については昭和56年以前に建築されたものが多く、段階的に解体していく。



令和5年度

主要プロジェクト

「未来へ おのまち総合計画」の目標達成のための主要プロジェクトは次のとおりです。

基本目標 ① 人を育む子育て・教育・文化のまち

(単位:千円)

事業名	事業費
結婚支援事業	3,400
教育委員会運営事業	3,800
スクールバス運行事業	112,600
給食センター管理運営事業	42,900
小・中学校ICT教育推進事業	48,900
体育施設管理運営事業	37,500
文化の館管理運営事業	16,800
芸術文化振興事業	200
芸術文化団体育成事業	400
企画展運営事業	900
文化財保護事業	1,100
海外研修助成事業	300
地域日本語教室スタートアップ事業	—
外国人社会教育指導員配置事業	5,600

基本目標 ② 元気でしあわせな健康・福祉のまち

事業名	事業費
予防接種事業(法定)	19,400
予防接種事業(法定外)	2,700
病院運営事業	167,200
地域包括ケアシステム事業	23,100
障がい者福祉事業	8,400
地域生活支援事業	25,300
障がい者自立支援給付事業	198,700

基本目標 ③ 安全で快適な生活環境のまち

事業名	事業費
郡山地方広域消防組合運営負担事業	171,000
交通安全対策事業	3,800
防犯対策事業	5,900
消費者問題対策事業	—
環境保全事業	1,500
最終処分場監視体制事業	50,600
再生可能エネルギー推進事業	900
ごみ減量化推進事業	100
ごみ処理事業	39,100
し尿等収集運搬事業	135,600
合併処理浄化槽整備推進事業	42,600
都市計画事業	9,900
住環境対策事業	5,000
道路維持管理事業	161,500
道路改良・舗装新設事業	82,000
街なか道路整備事業	51,500
橋りょう維持管理事業	13,000
公営住宅環境整備事業	17,400
木造住宅耐震診断・耐震改修事業	400
都市公園事業	28,200
公園・緑地管理事業	—

※事業費は10万未満切上げ、「—」は予算計上なし

基本目標 4 豊かで活力に満ちた産業のまち

(単位:千円)

事業名	事業費
農業者育成推進事業	5,100
水田農業振興事業	9,700
畜産振興事業	4,500
町特産品販売力強化支援事業	1,500
ふくしま森林再生事業	96,600
林道整備事業	101,300
森林環境保全事業	9,500
中小企業経営及び起業支援事業	1,500
企業誘致推進事業	1,200
観光客誘客促進事業	10,800

基本目標 5 選ばれるまち

事業名	事業費
地域交流推進事業	600
大学・民間企業との連携推進事業	150
交流推進事業	700

基本目標 6 みんなで力を合わせてつくるまち

事業名	事業費
人権擁護事業	300
男女共同参画事業	200
ふるさと納税事業	21,900
広域連携推進事業	2,600

※事業費は10万未満切上げ、「-」は予算計上なし

3月第1回会議開催

3月22日に令和5年小野町議会3月第1回会議を開催し、次の議案を可決しました。

◆小野町の個人情報保護に関する法律施行条例の制定

個人情報の保護に関する法律が改正されたことに伴い、現行の小野町個人情報保護条例を廃止し、新たな条例を制定するものです。併せて、小野町公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例についても、所要の改正を行うものです。

◆小野町情報公開・個人情報保護審査会条例の制定

小野町個人情報保護条例の廃止に伴い、新たに条例を制定するものではありません。併せて、小野町情報公開条例においても、所要の改正を行うものであります。

議員提出議案

◆小野町議会の個人情報保護に関する条例の制定

個人情報の保護に関する法律の一部が改正されることに伴い、町議会の保有する個人情報の適正な取扱いについて、条例を制定するものであります。

議案提出者：宗像 芳男 議員



町政を問う

※紙面の関係上、「◆」の質問と答弁の内容のみ要約して掲載しています。
掲載されていない質問項目の内容等は、小野町議会のホームページに掲載します。
「会議録」をご覧ください。(5月下旬掲載予定)

緑川 久子 議員 9ページ

- 1 「子ども食堂」について
- ◆ ①「子ども食堂」の本格的な実施に向けた取り組みについて
- 2 デジタル化交付金(財源)について
 - ①マイナンバーカードの申請率と「デジタル田園都市国家構想交付金」と「地方交付税」の配分について
- 3 統合後の小野高校(校舎・跡地)について
- ◆ ①県による統廃合後の校舎跡地の無償譲渡と補助制度について

会田 明生 議員 10ページ

- 1 産業振興について
 - ①地域振興作物の選定について
- ◆ ②農業用パイプハウス等整備について
- ③地場産材を活用した家づくりについて
- 2 創業・起業支援について
 - ①レンタルオフィスの充実について
- 3 図書館の有効活用について
- ◆ ①利用時間の延長について
- 4 町長の政治姿勢について
 - ①令和5年度予算における特徴的な取り組みは何か

水野 正廣 議員 11ページ

- 1 一般行政について
 - ①空き校舎の利用について
- ◆ ②県立高校統合・再編で県方針について
- ◆ ③業務の民間委託について
- ④小野インター周辺整備について

會田 百合子 議員 12ページ

- 1 老人憩の家「たかむら荘」について
- ◆ ①利用しやすいように送迎車の導入について
- 2 本町の国民保護計画のあり方について
 - ①本町や周辺に影響があることを想定しているかについて
- ◆ ②Jアラートが発出された際の避難方法について
- ③首都機能が麻痺したときの本町の影響について





緑川 久子 議員

問

「子ども食堂」の実施に向けた取り組みは

答

子どもの居場所づくりを進める

問 子ども達が無料、または低額で食事を提供する「子ども食堂」が、現在、全国で7,000か所以上、県内でも129か所と増えています。

子ども達を取り巻くセーフティーネットの整備など、社会や地域全体で子育てを応援する取り組みが全国的に広がっており、小野町では昨年3回、児童クラブの子どもたちに食事の提供が行われています。今後、町として「子ども食堂」をどのように取

り組むのか伺います。

町長 今後、整備予定の子育て支援施設において、子どもの居場所づくり事業を実施し、子どもたちが安心して過ごせる第3の居場所として、生活習慣、学習習慣、生き抜く力を育むための支援や食事の提供などについて検討します。

また、子ども食堂を含む子どもの居場所づくり事業の実施にあたっては、的確にニーズを把握した上で、運営主体や活動形態、各種補助金の活用などについて検討し、町内における子どもの居場所づくりを進めます。

問

統廃合後の小野高校跡地の活用について

答

地域の実情に応じたまちづくりを 県の支援等を含め検討を進める

問 県は、統廃合後の小野高校の校舎や跡地について、利活用を希望する場合は無償譲渡とすることや、校舎の解体費用を県が負担するなど1校につき5年間で最大3億円の補助制度が特例で新設されます。小野高校の跡地については、町の重要な拠点として地域の活性化に生かす取り組みが求められます。

町が建物を取得した場合には莫大な維持管理費がかかることも考慮し、多方面にわたり慎重に討議を

重ねることが大事なことを考えますが、町の見解をお聞きします。

町長 県は県立高校改革により生じる空き校舎等の建物や土地を、所在市町村が活用する場合の支援方針を公表しました。町は空き校舎等の利活用を検討するため、小野高校の再編整備に係る庁内検討会議を2月に設置しました。まずは土地や建物の現状把握や建物の耐用年数等の基礎調査を行い、地域の実情に応じたまちづくりに



県立小野高校

問

農業用パイプハウス等の整備を 支援としてはどうか



会田 明生 議員

答

利用していないパイプハウスの活用を 含めて幅広い支援策を講じる

問 農業の振興を図るうえで、担い手の確保育成は急務です。

自営就農の場合、多様な選択肢がありませんが、野菜などをハウス栽培する場合には初期投資が負担となります。

多様な選択肢での就農を支援するため、農業用パイプハウス等の整備への支援に取り組んではいかがでしょうか。

町長 担い手確保は、農業の振興を図るうえで必須のことです。



就農にあたっては水稲・畑作・畜産・酪農・施設園芸等々、様々な品目があり、単一あるいは複合的な形態があります。

近年、特に新規就農される方の中には、施設を利用した生産方式を取り入れるケースもよく見られます。施設整備には多額の費用が必要となる一方で、町内には現在利用されていないパイプハウス等もみられることから、これらの活用策も含めて、幅広い観点から支援策を講じます。

問

図書館の利用時間を延長してはどうか

答

近隣自治体の状況を参考に 見直しを検討する

問 図書館の利用は、本を読むほかに、明るく開放的で静かな環境から、自習の場所としての使い方もあります。

利用時間は、午前9時30分から午後6時30分までです。こおりやま広域圏内の市町村の状況は、最も遅い時刻まで開館しているのが須賀川市と本宮市の午後8時（日祝日を除く）で、田村市と三春町は午後7時（土日祝日を除く）となっています。

図書館をより利用しやすい環境とする

ために、利用時間の延長は出来ないでしょうか。

教育長

図書館の利用に関しては、学習スペースとしての利用もされています。

最近ですが、さらなる利便性向上のために、郷土史料館の一部を改修し学習に利用できるスペースを設けたところですが、利用時間は見直しをしています。今後は、近隣



ふるさと文化の館 図書館



水野 正廣 議員

問

小野高校跡地に類をみない 活用方法を検討してはどうか

答

多くの方々の意見を拝聴し 活性化に向けた取り組みを検討する

問 棚倉町では、不登校の児童の実態に配慮した柔軟な教育課程を編成できる、不登校特例校の設置を検討しているとのことです。文部科学省の指定を受ける特例校は児童の学習状況に応じた少人数教育などを行えるのが特徴であり、棚倉町の設置が決まれば県内初になるとのこと、当町においても特徴ある外に類をみないような活用方法を早急に検討し、町民の意見を取り入れ共同で進めるべ

きと考えるがいかがか伺います。

町長 小野高校の今後の活用については、町民の皆様のご意見それから議員の皆様のご意見、関係機関、県、国、全ての様々な関係機関からの意見等も拝聴し、行政でしっかりと考えながら、廃校跡地の利活用については、活性化に向けた取り組みをしたいと思



問

業務の民間委託の取組みは

答

費用対効果なども検証し推進しよう

問 先の定例会において公共的な社会教育施設の運営管理なども含め、様々な角度から検討を進め、雇用面や費用対効果を十分精査し、委託できるものは委託する姿勢は変えず、引き続き取り組みと答弁しているが、現在どのような取り組みとなっているのか伺います。

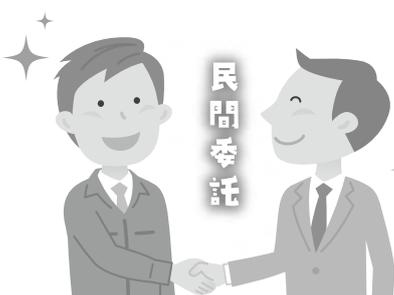
町長 おの悠苑火葬業務や学校給食センターによる調理運搬業務、たかむら荘の施設管理業務などを民間に委託しており、多目的研修集会施設や

町民体育館などについても管理業務の一部を民間に委託しております。また、緑とのふれあいの森公園については、指定管理者制度を活用し、民間活力による管理運営をしています。

共同で作業を行い、多様化する住民ニーズに対応した各種行政計画を策定しているところと

更に各種行政計画策定に伴う支援業務委託については、必要に応じて各課横断的な組織を設置し、職員が主体となり民間事業者が保有する高度な情報やネットワーク、蓄積されたノウハウを取り入れるなど、職員と民間事業者が

今後も民間委託することにより効果的に運営ができる業務について精査するとともに、費用対効果なども十分に検証し、業務の民間委託を推進します。



問

老人憩の家「たかむら荘」利用者の送迎車を導入できないか



會田 百合子 議員

答

タクシー利用料金の助成制度等により利便性の向上に努める

問 老人の家たかむら荘、ゆくゆく小町は浴槽が大きくなりゆつたりと入浴することができません。もつと沢山の方が利用しやすいように送迎車の導入を考えてはどうかお伺いします。

町長 昭和50年の開設以来約48年の長きにわたり、日帰り入浴や健康増進を目的として、町内の高齢者を中心に年間延べ約8,000人の方々に利用されています。

また、介護予防ミニ

デイサービス事業や老人クラブなども利用し、送迎サービスの部分では単位老人クラブごとに年1回送迎バスを運行し、その費用を町で支援しています。

送迎車の導入については、高齢者福祉増進やサービス向上の面で共感を覚えるものですが、個別ニーズに合わせての対応や、新たに発生する車両の維持費、ドライバーの人件費など、現在収支約1,200万円の赤字の状況からは、導



入は困難であると考えます。そのため、町で事業展開をしているタクシー利用料金助成制度や路線バス利用等の周知をすること、利便性の向上に努めます。

問

Jアラートが発出された際の避難方法は考慮されているか

答

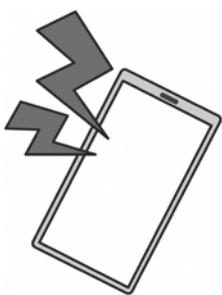
広報誌や町のウェブサイトなどで周知徹底を図る

問 本町における国民保護計画において、全国瞬時警報システム、Jアラートが発出された際の住民の避難施設の指定や避難方法等は、十分に考慮されているか伺います。

町長 弾道ミサイルは極めて短時間で落下することが予想され、避難行動の時間が限られるため、屋内にいる場合はできるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋に避難すること。また屋外にいる場合は近くの建物の中、できれば頑

丈な建物へ避難し、近くに建物がない場合は物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭を守る行動をとっていただくこととなります。

町民の皆様に対しては、引き続きJアラートが発令された際の避難行動について、広報紙や町のウェブサイトなどを活用して周知徹底を図ります。



追跡

どうなった？ あの一般質問を検証！

過去の一般質問から「検討したい」という答弁だったものを取り上げ、その後の町の対応を検証します。

スクールバスの利用対象要件について

質問

令和2年4月の小野小学校開校に伴い、特に遠距離の児童の通学支援としてスクールバスを運行しており、3キロメートルを超える児童が対象であるが、登下校時の安全確保の観点から要件を緩和できないか伺います。

(令和2年定例会6月会議)

答弁

新たな運行基準については、小野町小学校統廃合準備委員会や教育委員会において検討し、決定したもので、利用対象となる通学距離については国が示すおおよその目安である、小学生4キロ以上、中学生6キロ以上より緩和し、小学校3キロ、中学生が4キロ以上としたところであります。

なお、スクールバスの運行による様々な課題については、随時検証・検討したいと考えています。

その後

令和5年4月から全体的な距離や年齢による体力に応じた距離の見直し等、多岐にわたり検討を行い、運行基準を見直しました。

新たな運行基準は、小学1年生を2キロ以上、小学2年生～6年生を2.5キロ以上、中学生を3.5キロ以上とし運行を行っております。



自治功労者表彰

水野正廣議員が自治功労者表彰を受け、定例会3月会議において表彰状の伝達が行われました。自治功労者表彰は町村議会議員として15年以上在職し、地方自治の振興発展への功績が認められた方に授与されます。



水野正廣議員

議会活動トピックス

田村市「たむら水再生センター」を視察(4月26日)



鎌田環境部長より施設概要の説明



現場にて貯留の説明を受ける

三春町役場庁舎を視察(4月26日)



多目的ホール(桜ホール)の利用の仕方の説明を受ける



三春町役場議場において(三春町正副議長と)

葉たばこの播種状況を視察(3月9日)

厚生産業委員会では、町内にある「葉たばこ共同育苗施設」で行われた令和4年産業たばこの播種(種まき)状況を視察しました。JA福島さくら南部営農経済センター長より説明を受けました。



葉たばこの播種状況



草野センター長から事業の概要説明

議会活動日誌

2月

- 1日 小野町新庁舎建設基本計画(案)議会説明会／議会改革特別委員会
田村広域行政組合議会運営委員会・全員協議会(三春町)
- 8日 田村広域行政組合議会定例会(三春町)／
田村広域行政組合議会意見交換会(三春町)
郡山地方広域消防組合議会定例会(郡山市)
- 10日 月例全員協議会
- 15日 国見町議会総務文教常任委員会研修来庁
小野町次期総合計画基本計画(案)議会説明会
個人情報保護条例概要説明
- 22日 例月出納検査
- 24日 議会運営委員会／議会全員協議会
- 27日 福島県町村議会議長会定期総会(福島市)

3月

- 1日 小野高等学校卒業式
- 2日～10日 小野町議会定例会3月会議
- 9日 厚生産業常任委員会葉たばこ播種状況視察
追加議案議会運営委員会／追加議案全員協議会
- 10日 月例全員協議会
- 13日 小野中学校卒業式
- 14日 阿武隈高原中部観光連絡協議会解散総会
- 16日 田村リサイクルセンター(仮称)起工式
- 17日 小野町交通安全対策協議会
- 18日 おのまち認定こども園卒園式
- 20日 たむら地方観光連絡協議会
- 22日 3月第1回会議議会運営委員会／3月第1回会議全員協議会
3月第1回会議本会議
- 23日 小野小学校卒業式／小野町認定農業者会総会
- 24日 例月出納検査／田村広域行政組合解散式(三春町)
- 28日 田村汚泥再生処理センター竣工式／小野町教職員離任式
- 29日 公立小野町地方総合病院企業団議会 議会運営委員会・定例会
- 30日 「東堂山勝馬」試飲会

4月

- 3日 小野町教職員着任式
- 4日 グラウンドゴルフ協会総会
- 6日 小野小学校入学式／小野中学校入学式
- 8日 おのまち認定こども園入園式
- 10日 月例全員協議会／議会改革特別委員会
- 11日 小野高校入学式
- 18日 交通死亡事故ゼロ2000日達成県交通対策協議会長表彰伝達式
- 19日 日赤すみれ会総会／農業委員会観桜会
- 23日 小野町消防団春季検閲式
- 25日 例月出納検査
- 26日 たむら水再生センター視察／三春町役場庁舎視察
- 27日 民生児童委員協議会総会／小野町老人クラブ連合会総会
- 28日 田村地方町村議会議長会定期総会
- 29日 第37回川の手荒川まつり(東京都)

議会からのお願い

議会だよりの取材のため、腕章をつけた広報編集委員会の委員が、お伺いしますので、ご理解・ご協力をお願いします。

議会からの **お知らせ**

定例会6月会議は

6月14日(水)から開会します。

一般質問は夜間議会で6月15日(木)・16日(金)の予定です。

- 座席数に限りがありますので、ご理解とご協力をお願いします。
 - 傍聴席が満席の場合は、会議室でのテレビ視聴となる場合があります。
 - 一般質問の様子をYouTubeにより動画配信をいたします。
- ※詳しくは小野町議会事務局までお問い合わせください。(0247-72-6930)

令和5年
5月25日発行
174号

発行者／福島県小野町議会
編集／議会広報編集委員会
〒963-3492
福島県田村郡小野町大字小野新町字館廻2
☎0247-72-6930

スマホ用アプリ

マチイロで配信しています!

より多くの皆さんに「おのまち議会だより」をお届けできるよう、スマートフォン用無料広報誌アプリ「マチイロ」で配信をしています。ぜひご覧ください。

QRコードからアクセスしてください



マチイロ
マチを好きになるアプリ

表紙の写真

6月3日「矢大臣山山開き」

矢大臣山はとも眺めがよく展望台からは太平洋まで一望できると言われています。

色鮮やかな「ヤマツツジ」と薄紫の可憐な「ミヤマアズマギク」も鑑賞してください。



小野町議会

【小野町議会広報編集委員会】

委員長	田村 弘文
副委員長	竹川 里志
委員	宗像 芳男
委員	会田 明生
委員	先崎 勝馬
委員	緑川 久子
委員	中野 孝一
委員	會田 百合子

● **あじがき** ●

新型コロナウイルス感染者数もようやく減少し5類に移行しましたが、夏こそ第9波の感染が拡大する可能性があるとのこと。また、マスクの着用が必要かもしれません。ある飲食店に貼られていた名言を紹介いたします。

一・高いつもりで低いのが 教養
一・低いつもりで高いのが 気位
一・深いつもりで浅いのが 知識
一・浅いつもりで深いのが 欲望
一・厚いつもりで薄いのが 人情
一・薄いつもりで厚いのが 面皮
一・強いつもりで弱いのが 根性
一・弱いつもりで強いのが 自我
一・多いつもりで少ないのが 分別
一・少ないいつもりで多いのが 無駄

まさに自戒の言葉ですね。

小野町議会広報編集委員会 委員
先崎 勝馬



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証された適切に管理された森からの木材を含んだ用紙で印刷されています。

小野町議会 小野町議会のホームページもご覧ください